

実施計画（平成30～32年度）の概要（骨格予算）

1 計画の目的

本市は、長期総合計画において、市の将来像を「人も元気 まちも元気 新鮮都市 いとしま」と設定し、目指すべき都市イメージとして、「みんなに優しい住みよいまち」、「自然をたいせつにした美しいまち」、「みんなでつくる自立したまち」を掲げています。

これらを実現するために、市のまちづくりの基本理念を「人と自然と文化を生かした協働のまちづくり」とし、その基本理念のもとに設定した7つの基本目標に基づき、今後のまちづくりを進めていくこととしています。

また、長期総合計画には、幅広い分野の内容が盛り込まれていますが、限られた資源で効率的に地域課題を解決するため「子育て支援プロジェクト」、「校区まちづくり推進プロジェクト」、「九州大学を生かした地域づくりプロジェクト」、「しごとづくりプロジェクト」、「移住支援プロジェクト」の5つを、“重点プロジェクト”として掲げています。

本実施計画は、長期総合計画に定められた施策に基づき、主要かつ優先度が高い事業を具体的に示すものです。

平成30年3月議会で決定した骨格予算分の計画を掲載しています。

2 計画書の構成

実施計画書は、全事業の財源を示した「事業一覧表」及び、主要な施策・事業内容等を定める「事業計画書」で構成しています。

実施計画書に計上している施策・事業は、ハード事業、ソフト事業、重点プロジェクトロードマップ対象事業を下記の基準により選定しています。

【ソフト事業】

単年度事業費が100万円以上のもの、または総事業費が300万円以上のもの
（原則、最長3年間）

【ハード事業】

単年度の事業費が500万円以上のもの、または総事業費が1,500万円以上のもの

【重点プロジェクトロードマップ対象事業】

事業費に関わらず、全ての事業が対象事業となります。

3 計画の期間

実施計画の期間は、平成30年度から平成32年度の3年間とします。

4 実施計画事業の評価

実施計画に計上する事業については、事業実施の前後で、次に掲げる3つの評価を行います。

事前・中間評価

実施計画に計上する事業を決定するに当たり、事業の有効性、効率性などを視点に評価を行います。

評価種類	内部評価
評価時期	実施計画策定前
評価対象	実施計画に計上する事務事業
評価者	各事業担当部課、実施計画担当課、庁議
評価視点	必要性、妥当性、効率性、緊急性、有効性等
結果反映	実施計画策定及び見直し（継続、拡大、縮小、休止、廃止等の判断）、予算編成

事務事業評価

実施計画に計上した事業について、各年度の終了時点で、当初設定していた効果目標が得られたかの評価・分析を行い、事業の見直し及び関連事業の参考とします。

評価種類	内部評価、外部評価
評価時期	各年度の事業終了後
評価対象	前年度公表した実施計画に計上した事務事業
評価者	各事業担当部課、庁議、外部評価委員
評価視点	効率性、必要性、有効性等
結果反映	実施計画の見直し（継続、拡大、縮小、休止、廃止等の判断）、予算編成、関連事業企画立案の参考等

5 計画の概要と財源

本実施計画（3か年）に計上した事業費の総額は、130億1,483万4千円（一般会計、特別会計、企業会計含む）で、その充当財源の内訳は、「実施計画事業一覧表（P5～）」に示しています。

一般会計事業において必要な一般財源の総額は、35億8,308万3千円です。

実施計画策定にあたっては、厳しい財政状況を考慮しながら、国県などの補助、交付税措置のある起債などを極力活用し、緊急性を最重視して財源を配分しました。

基本目標別の事業費（一般会計、特別会計、公営企業会計含む）（単位：千円）

基本目標	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
みんなが健康で元気なまちづくり	48,178	39,860	16,240
子どもが健やかに育つまちづくり	399,023	547,518	688,404
海、山、川をたいせつにしたまちづくり	186,411	206,888	2,188
快適に暮らすことができる安全・安心のまちづくり	4,289,174	2,014,720	1,920,758
みんなの力で進める協働のまちづくり	64,743	49,945	28,560
経営感覚を持った持続可能なまちづくり	203,900	270,132	336,748
地域資源を生かした産業創出のまちづくり	697,601	673,947	329,891
合 計	5,889,035	3,803,010	3,322,789

全事業数・・・134 事業

以下、長期総合計画における 7 つの基本目標別に、該当する施策・事業の概要について説明します。